クリーンなエネルギーへ

熱回収や電力削減でCO2削減

・熱回収で310t-CO2/年の二酸化炭素排出量削減を達成

対象期間:2018年3月～現在

詳細:

ボイラー使用時、コンプレッサー発熱時および焼却使用時に熱回収

65 ℃の温水（年間2,000t/ℓ）を生成

・水冷式エアコン導入で冷却効率を約70%アップ

対象期間:2006年～現在

詳細:

以前の空冷式から、16℃の地下水を汲み上げ使用する、
水冷式エアコンへ変更
エアコン台数は以前の3台から現在は1台へ

→冷却効率化を達成

ボイラーや焼却炉から熱回収

水冷式エアコン

設備投資及び電力削減の両立を

- 白色光触媒テントについて

①照明不要な白色光触媒テント(太陽工業(株)セルフマックスK)を作業用テント(3箇所)に使用し、照明の不使用を達成

②雨でも作業可能、汚れも非常につきにくい特性を持つ

- 屋根の特性断熱材について

工場屋根に特製の断熱材を設置して外気の影響を抑え、施設内の空調使用度の削減

照明不要な白色光触媒テントを使用

工場屋根に特製の断熱材を設置

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

13 気候変動に 具体的な対策を

クリーンなエネルギーを

重油式ボイラーからLPガス式ボイラーへ変更

LPガス式ボイラーを導入し（2014年～）

286t-CO2の二酸化炭素排出量削減を達成（66t-CO2削減/年）

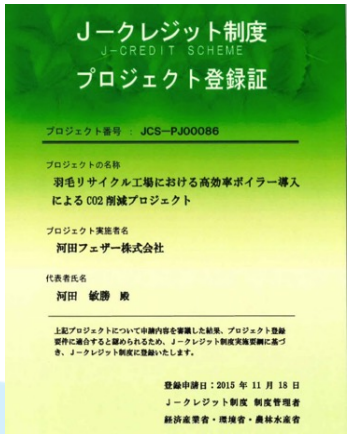
対象期間：（Jクレジット制度の利用を伴う開始）

2015年11月18日～現在

詳細：

1. J-クレジット制度を利用し、重油からLPガス使用ボイラーへ変更
2. 変更後の出力は20%アップ、ボイラー数を3台から2台へ削減
3. 重油式では燃焼レベルを3段階しか選べなかったが、
   LPガス式では自由調整が可能となり、効率化も実現
4. J-クレジットは三重県で開催するイベントや大会に寄付予定

J-クレジット登録証


Jークレジット制度
J-CREDIT SCHEME
プロジェクト登録証

プロジェクト番号 ： JCS-PJ00086

プロジェクトの名称
羽毛リサイクル工場における高効率ボイラー導入による CO2 削減プロジェクト

プロジェクト実施者名
河田フェザー株式会社

代表者氏名
河田　敏勝　殿

上記プロジェクトについて申請内容を審査した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、Jークレジット制度実施要綱に基づき、Jークレジット制度に登録いたします。

登録申請日：2015 年 11 月 18 日
Jークレジット制度　制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

LPガスボイラー